

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月26日

兵庫県知事 殿

提出者
 住 所 愛知県半田市中村町2-6
 株式会社 Mizkan Sanmi
 氏 名 代表取締役 大森 弘幸
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 0794-76-2311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	(1). 株式会社 三木ミツカン 三木工場 (2). 株式会社 Mizkan Sanmi 三木工場
事業場の所在地	兵庫県三木市吉川町畑枝395-1
計画期間	(1). 平成25年4月1日から平成26年2月28日まで (2). 平成26年3月1日から平成26年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0949 その他の調味料製造業
②事業の規模	(1) 60億円/年 (2) 0.6億円/年
③従業員数	(1) 50人 (平成26年2月時点) (2) 50人 (平成26年5月時点)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（平成25年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(これまでに実施した取組) ・生産工程の改善を検討、実施し、不良品発生量の削減に努めた。(廃酸) ・排水処理施設の運転管理(嫌気処理槽の運転充実)を行い、汚泥の発生を抑制した。
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	(今後実施する予定の取組) ・生産工程の改善を継続し、更なる歩留りの向上を図る。(廃酸) ・嫌気処理槽自動攪拌装置の導入により、排水処理施設の維持管理を更に向上させ、汚泥の発生を抑制する。(汚泥)
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃酸、廃プラスチック、動植物性残さはそれぞれ分別、保管をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用の検討を行う。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 排水処理施設付属の脱水機のメンテナンス維持。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 排水処理施設の嫌気処理設備への自動攪拌装置導入による汚泥発生量の削減。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 定期的に処理委託業者を訪問し、処理状況の現地確認を実施することで、委託基準の遵守状況を確認している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定処理業者、認定熱回収業者への委託を検討する。 ・処理委託業者を定期的に訪問し、処理状況の現地確認を実施する。		
※事務処理欄			

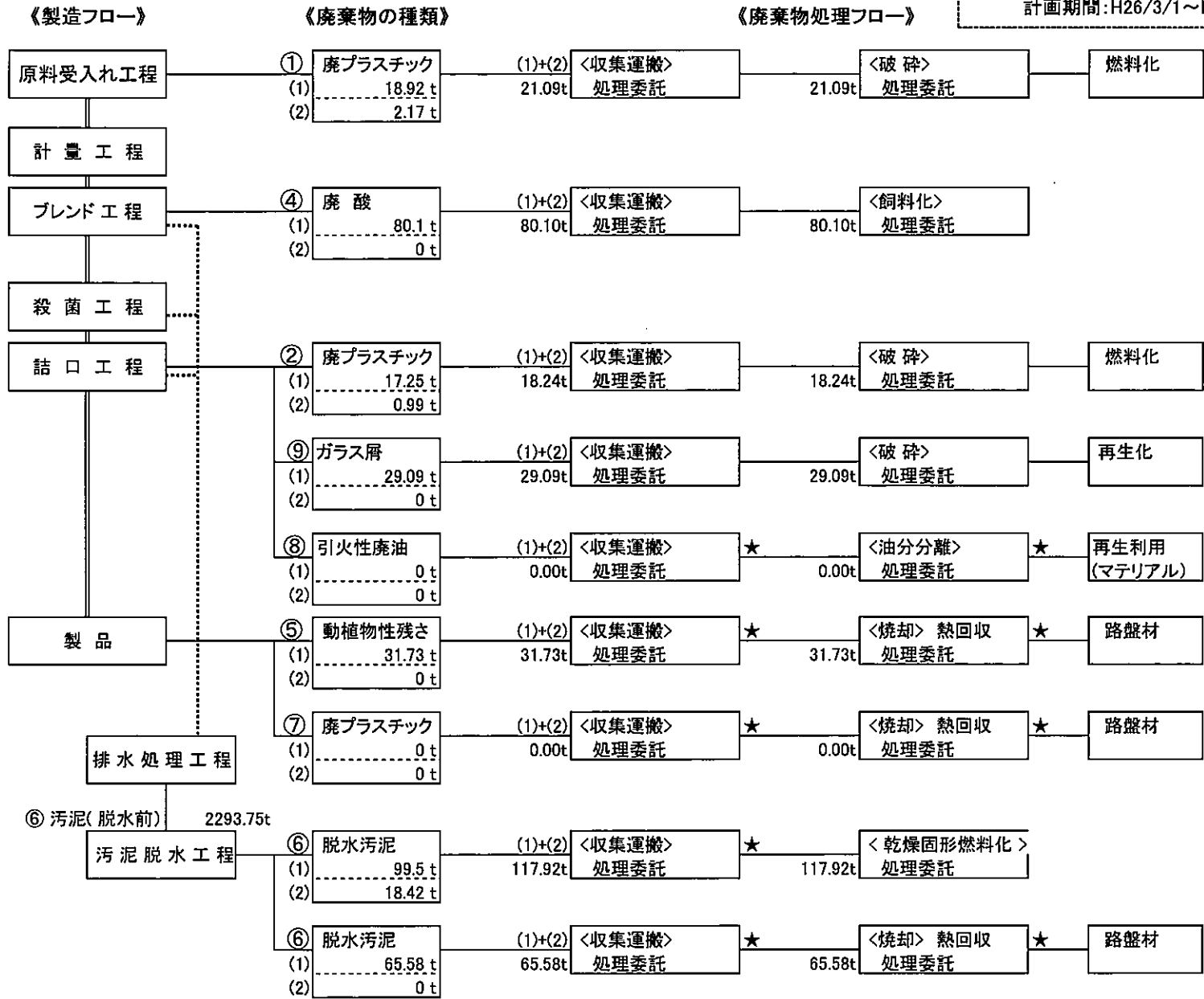
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

※廃棄物の種類
 上段(1)－㈱三木ミツカン三木工場廃棄物量
 計画期間：H25/4/1～H26/2/28
 下段(2)－㈱MizkanSanmi三木工場廃棄物量
 計画期間：H26/3/1～H26/3/31

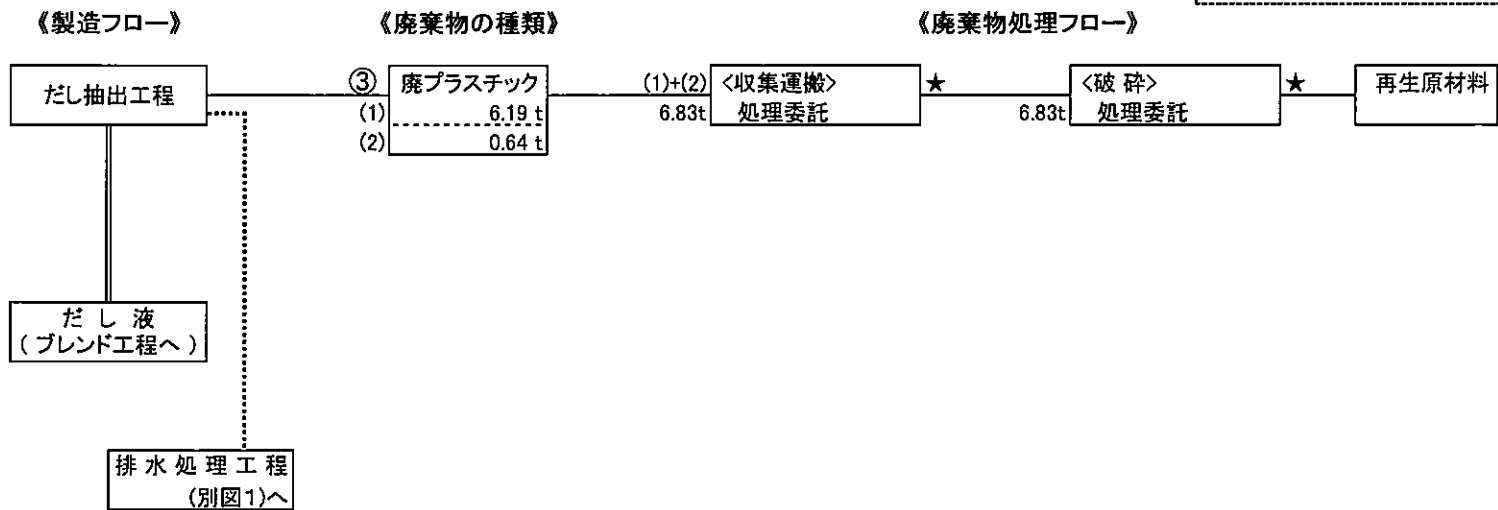
図1. 製造フローおよび廃棄物処理フロー



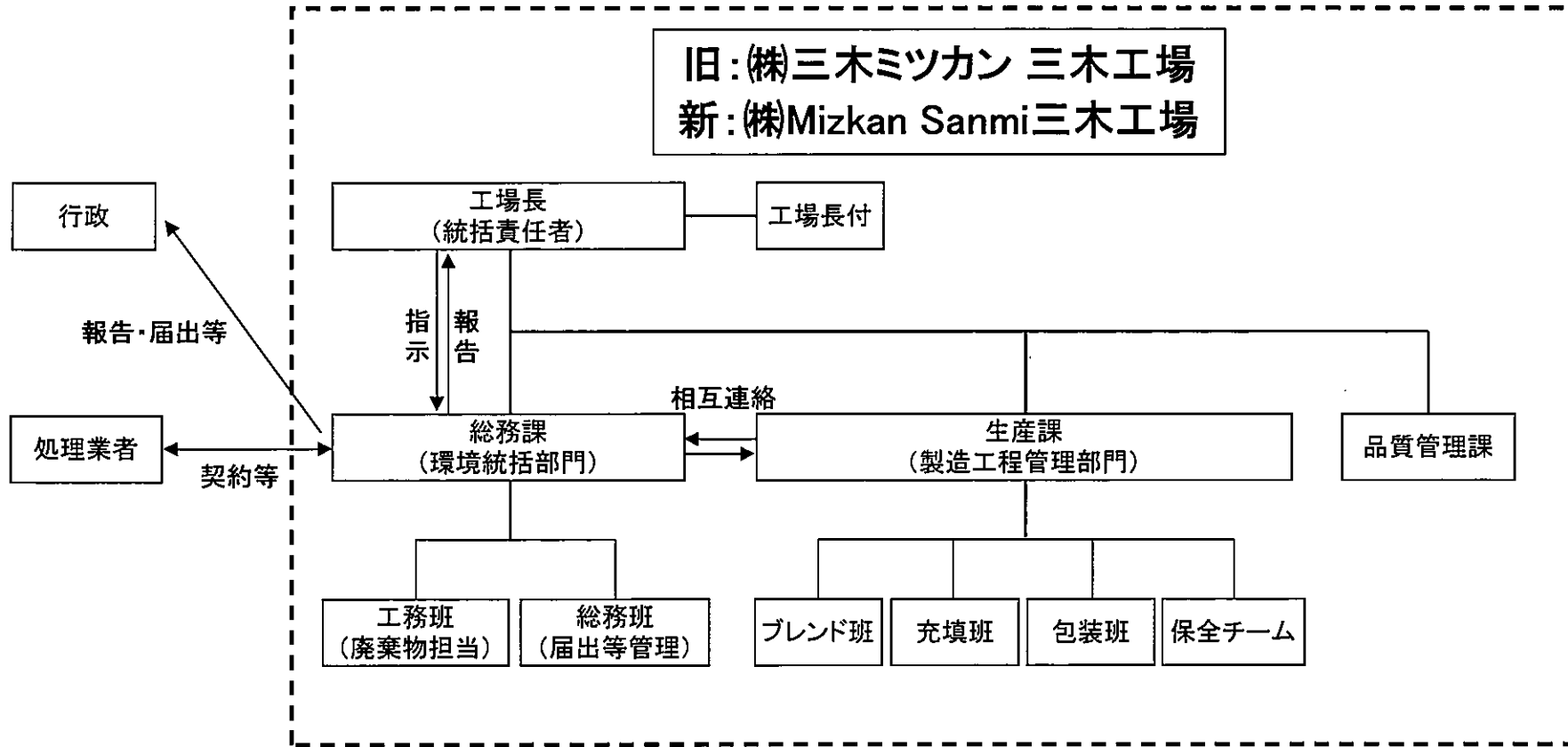
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

図2. 製造フローおよび廃棄物処理フロー(だし抽出工程)

※廃棄物の種類
 上段(1)－㈱三木ミツカン三木工場廃棄物量
 計画期間：H25/4/1～H26/2/28
 下段(2)－㈱MizkanSanmi三木工場廃棄物量
 計画期間：H26/3/1～H26/3/31



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



平成26年3月1日より、「株式会社三木ミツカン三木工場」は、事業合併により、「株式会社MizkanSanmi三木工場」と変更しております。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○ 現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
排出量	21.09 t	18.24 t	6.83 t	80.10 t	31.73 t	2293.75 t	0.00 t	0.00 t	29.09 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
排出量	22.00 t	19.00 t	7.00 t	84.00 t	33.00 t	2408.00 t	0.00 t	0.00 t	30.00 t

186.779

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○ 現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○ 現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2128.67 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	2300.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○ 現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○ 現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
全処理委託量	21.09 t	18.24 t	6.83 t	80.10 t	31.73 t	183.50 t	0.00 t	0.00 t	29.09 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	31.73 t	183.50 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	21.09 t	18.24 t	6.83 t	80.10 t	t	117.92 t	t	0.00 t	29.09 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	31.73 t	65.58 t	t	t	t

○ 計画 目標

産業廃棄物の種類	①廃プラスチック	②廃プラスチック	③廃プラスチック	④廃酸	⑤動植物性残さ	⑥汚泥	⑦廃プラスチック	⑧引火性廃油	⑨ガラス屑
全処理委託量	22.00 t	19.00 t	7.00 t	84.00 t	33.00 t	192.00 t	0.00 t	0.00 t	30.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	33.00 t	192.00 t	0.00 t	0.00 t	t
再生利用業者への処理委託量	22.00 t	19.00 t	7.00 t	84.00 t	t	0.00 t	t	0.00 t	30.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	33.00 t	192.00 t	t	t	t